



倭版書籍考

八
十

1 2
2334
5



門 42
巻 5

高木家藏



倭板書籍考卷之八

倭歌之部

萬葉集

二十卷アリ每巻ノ首ニ目錄ヲ出セリ橘諸兄

聖武天皇ノ勅ヲ受撰ス家持モ撰者ノ内ナリ文永
年中仙覺律師カ跋ニ寛元元年鎌倉ノ將軍頼
經源親行ニ命ノ寫サシメ至フ本ノ外ニ三本ノ證本ヲ加
テ書ト云リ尤ニ條家ノ本ヲ以校合スト云文和二
年成俊僧都ノ跋アリ仙覺歌人ナリ其和歌撰集
二十載レリ萬葉ノ右點ハ源順等ナリ次點ハ大江匡房
藤原基俊ナリ又次點ハ權律師仙覺ナリ三ヶ證
本ハ松殿入道ノ本ハ光明峯寺入道ノ本ハ鎌



早稲田大學
25.4.12
蔵

書籍考卷八

倉右大臣家ノ本ナリ萬葉編緝ノ時代ノ諸説
不一羅山先生ハ聖武ノ時ト云説ニ從ヘリ

二十一代集

古今集二十卷アリ六十年代醍醐天皇
延喜五年ノ勅定ニ紀友則紀貫之凡河内躬
恒壬生忠岑等撰之就中貫之棟梁ナリ序文ニ
ツアリ倭字ハ貫之一旅ナリ文人ナリ

後撰集

二十卷アリ六十二代村上天皇天曆五年ノ勅定ニ
テ梨壺ノ五人大中臣能宣清原元輔源順紀貫之
子時文坂上望城等撰之此時藤原伊尹和歌所
別當タリ伊尹ハ謙徳公ノ事ナリ眞信公忠平ノ孫
右大臣師輔公ノ子ナリ右五人和歌ニ名高キ人中ニ

モ順ハ和漢ノ才人ナリ拾遺集二十卷アリ六十六
代一條院景德年中花山法皇御撰ナリ藤原公任
ノ撰ト云説アレバ後拾遺ノ序ニ花山法皇御撰トア
リ拾遺集鈔公任ノ作ト云説アリ以上三代集ト云
和歌者流相傳ノ故實アリ 後拾遺集二十
卷アリ天曆以後ノ歌撰之七十二代白河院ノ勅定
ヲ以應徳三年右大辨藤原通俊名アル歌人也小
野宮實頼公ノ末也後ニ二位ノ中納言ニナレリ倭字序
通俊ノ作ナリ 金葉集十卷アリ七十五代
崇徳院天治元年白河院ノ院宣ヲ以前木工頭源
俊頼朝臣撰之俊頼ハ宇多源氏ニテ大納言經信

ノ子俊惠法師ノ父ナリ藤原基俊ト名ヲ争ヘテ和歌
ノ名人ナリ歌道ノ物シリハ基俊アリ和歌ノ達者ハ俊
頼ナリ 詞華集十卷アリ七十六代近衛院天
養元年崇徳院ノ院宣ヲ奉リ左京大夫頭輔撰
之頭輔ハ修理大夫頭季ノ子ニテ清輔頭昭法師ノ
父ナリ和歌一流ノ祖是ヲ六條流ト云 千載集二
十卷アリ八十二代後鳥羽院文治年中入道俊成
後白河院宣ヲ奉リ撰之之後拾遺ニ落タル歌ヲ始メ
文治ノ比ノ歌ヲ撰ス倭字序アリ俊成作俊成ハ御
堂 白道長公ノ末ニテ中納言俊忠ノ子ナリ歌道
ヲ藤原基俊ニ傳多リ是ニ二條流ト云和歌一流ノ祖

ナリ 新古今集二十卷アリ八十三代土御門院
元久二年後鳥羽院ノ院宣ニテ後撰集梨壹五人
ノ例ニヨリ源通具藤原有家定家家隆雅經等鳥
羽離宮ニテノ撰ナリ此時和歌所開闔源家長同寄
人藤原清範鴨長明藤原秀能ナリ漢字ノ序ハ
攝政良經公ノ命ニ依テ大納言藤原親經ノ作也
親經ハ日野家嫡流ノ儒者ナリ倭字序ハ良經公
作ナリ萬葉ノ和歌ハ八之 古今ヨリ千載迄七代ノ和
歌除之トアリ古今ヨリ新古今迄是ヲ八代集ト
云 新勅撰二十卷アリ八十五代後堀河院
ノ詔ヲ以貞永元年權中納言定家撰之進呈ノ本

藤原行能書之行能行成ヨリ八代能書ノ歌人ナ
リ倭字序アリ定家作ナリ 續後撰集二十卷

アリ八十八代後深草院御宇民部卿為家八十七
代後嵯峨院ノ院宣ヲ奉リ撰之牡丹花作ニ九代
鈔アリ其鈔ノ跋ニ九代ハ後撰ヨリ續後撰迄ト云リ
然ニ本朝遼史牡丹花ノ傳ニ九代鈔ハ古今ヨリ新
勅撰迄トアリ不審ナル事ナリ 續古今集二

十卷アリ八十九代龜山院文永二年依テ八十七代
後嵯峨院院宣前内大臣藤原基通入道前大納
言藤原為家入道藤原行家入道藤原光俊法名
真觀四人撰之是ハ延喜ノ古今ニ四人ニ命人撰セシム

ル例ト聞ヘタリ右十代集ノ歌ハ除ク萬葉ハ入レタリ
漢字序倭字序アリ共ニ未詳作者此集初ハ為家
入道一人ニ詔アリ後ニ撰者ヲ加ラル因テ為家述懐ノ
歌アリコノ歌玉葉集ニノレリ古今集新古今集續
古今集コノ三集トモニ乙丑ノ年撰ニ終レリトアリ基通
ハ法性寺忠通公ノ孫ナリ行家ハ顯輔ノ孫光俊ハ
兼室家ノ歌人法名真觀宗尊親王和歌ノ師ナリ
為家其時ハ入道法名融覺ト云 續拾遺集
二十卷アリ八十九代龜山院勅定ヲ奉リ為氏撰
之為氏ハ為家郷ノ嫡子ナリ為氏ノ母ハ宇都宮弥
三郎頼綱娘ナリ頼綱法名蓮生歌人ナリ其歌撰

集二入 新後撰集二十卷アリ九十二代伏見院
 正安三年依後宇多院院宣大納言為世卿撰
 之為世ハ為氏ノ嫡子ナリ 玉葉集二十卷アリ
 九十四代花園院正和二年依九十一代伏見院院宣前
 大納言為兼撰之為兼ハ為教ノ子為家ノ孫ナリ上
 古以來十三代集ノ外撰之 續千載集二十
 卷アリ九十四代花園院文保三年依後宇多院
 院宣為世卿撰之 續後拾遺集二十卷アリ
 九十五代後醍醐天皇元亨三年ノ綸命ヲ奉リ
 為藤卿撰之未終篇死去故為定相續撰之為
 藤ハ為世ノ子為定ノ叔父ナリ 風雅集二十

卷アリ九十七代光明院貞和年中九十四代花
 園法皇御自撰ナリ真名序假名序共ニ法皇ノ
 作ナリ此集ノ清書ハ尊圓親主トアリ尊圓ハ伏見
 院ノ皇子ニテ法皇ノ弟ナリ 新千載集二十
 卷アリ九十九代後光嚴院延文中ノ綸命ニ
 依テ入道大納言為定卿撰之為定ハ為道ノ嫡
 子ト云ドモ為道早世故祖父為世ノ跡ヲ續ケリ和歌
 ニ名高キ人ナリ 新拾遺集二十卷アリ九十
 九代後光嚴院貞治年中綸命ヲ奉リ為明卿
 撰之為明ハ為藤ノ子ニテ為世ノ孫ナリ清書行忠
 卿ナリ行忠ハ行成ノ子孫能書ノ人ナリ 新後

拾遺集二十卷アリ百代後圓融院永和中綸命ヲ奉リ為遠郷撰之為遠ハ為定ノ嫡子ナリ編纂ノ中為遠死去故中納言為重ニ直ニ勅定有テ續撰ス因テ序ニ為重撰之トアリ假名序二條太相國良基公後普光園院作ナリ永徳二年三月廿八日ニ編集ノ功ヲ終ト記セリ良基公方義滿公ト中ヨク此集ノ事モ武家ト仰合ルト聞ヘタリ良基公和歌有職ノ達人ナリ為重ハ為道ノ孫為冬ノ子為定ノ姪男ナリ為定ノ右筆ヲツトム歌道相傳ノ名人ナリ新續古今集二十卷アリ百三代後花園院永亨年中勅定ヲ奉リ飛鳥井中納言雅世郷撰之雅

世雅縁ノ子ニテ榮雅ノ父ナリ六年ノ功ヲ以終篇ト云假名序真名序共ニ一條攝政兼良公ノ作ナリ此集モ公方義教公ト仰合サレタリト聞ヘタリ

八雲御鈔 六卷アリ詠歌ノ法式歌學最要事ヲ記セリ漢字ノ序アリ後鳥羽院ノ御子順徳院ノ御作ナリ和歌無底鈔 十卷藤原基俊ノ作ナリ和歌題詠ノ法ヲ著セリ基俊俊成為氏等ノ跋并起請文卷尾ニアリ此書ノ一名一子傳ト云

夫木集 三十六帖アリ遠江ノ住人勝田越前守長清法名蓮照作ナリ長清ハ冷泉為相郷ノ門弟ナルヘシ始扶桑集ト號セシヲ為相夫木ト改レシ謂レ跋ニアリ

代々撰集ニ漏レタル歌部類ヲ分ケテ集メタリ長
清死後高武藏守師直ヲ集メテ又八家集ニ書
写スト云近來浪華ノ桑門西順拔書ノ本二冊刊行ス

建保名所三百首鈔 四本アリ順徳院定家家隆作ナ

リ紹巴昌叱鈔鮮應毛利元就之云部立四季歌雜也

千五百番歌合 二十卷十冊アリ作者後鳥羽院ヲ初メ

奉リ時ノ名近三十人餘アリ判者後鳥羽院良經公慈

鎮忠良郷釋阿定家頭昭法師季經法名蓮經師

光法名生蓮ナリ

堀川院艶書合 一卷アリ堀河院時ノ歌人ニ命シテ作ラ

シムル艶詞ノ贈答ヲ集メタリホニ艶簡モ有リ作者公

實國信忠教俊實俊頼俊忠師時為方家時正兼

閨秀六周防内侍康資王母院大進女御殿ノ百

合花前壽院紀伊肥後四條官甲斐中官上總一

宮紀伊女院ノ安藝小大進等ナリ

御裳濯河歌合 一卷アリ西行自撰三十六番歌合ナリ

判者俊成郷ナリ又宮河歌合續三十六番一卷作者

西行判者定家二卷合刻ス二集ノ由來本朝歴史見ナリ

六家集 十八冊アリ俊成ノ長秋詠草二冊 良經公月清

集四卷二冊 慈鎮拾玉集七卷五冊 西行ノ山家

集上下二冊 定家拾遺愚草上中下三冊 同拾

遺愚草負外雜歌上下二冊 家隆壬二集上中下三冊

僻案集 二卷アリ古今後撰拾遺三代集ノ略鈔ナリ
定家卿ノ作ト聞ヘタリ

六百番歌合 十冊アリ左方ノ歌人後京極良經公藤

原季經藤原兼宗藤原有家藤原定家顯昭阿

闍梨以上六人右方ノ歌人藤原家房藤原經家藤原

隆信藤原家隆源信定寂蓮法師以上六人判者

俊成卿ナリ

内裏名所四百首 一本アリ順徳院定家家隆俊成

卿女ノ歌ナリ四季ノ名所ヲ分テリ

奥儀鈔 上中下三卷刊本八卷ニ分ツ藤原清輔ノ作

ナリ和歌ノ式萬葉古今集等和歌ノ奥儀ヲ釋ス

歌道至要ノ書ナリ五家髓腦ノ一ナリ清輔ハ詞華集ノ

撰者顯輔ノ子顯昭法師ノ兄ニテ博識ノ歌人ナリ

古今六帖 十二本ニ分ツ古歌ヲ集メタリ貫之ノ息女

典侍カ作ト聞ヘタリ

柏玉集 十卷アリ後栢原院ノ御集ナリ後栢原院ハ

近代倭歌ニ名アル天子ナリ

雪玉集 十八卷アリ三條西實隆公ノ集ナリ實隆ハ倭

歌ノ名人倭漢ノ才人ナリ道遙院入道堯空ト云コレナリ

天文六年ニ卒ス行年八十三聽雪トモ號ス實隆ノ

子ヲ右大臣公條ト云稱名院入道仍覺コレナリ博

識ハ實隆ニ越タリ公條ノ子ヲ内大臣實澄ト云コレモ

名近ナリ三光院豪家下號ス是三位法印幽齋老人
歌道ノ師近ナリ三代相續シタル名近ナリ

碧玉集 六卷アリ下ノ冷泉ノ祖大納言持為卿ノ息大

納言政為ノ集ナリ

歌枕名寄 目錄共ニ三十六卷アリ和歌ノ名所國ヲ分

テ記セリ僧ノ澄月作澄月傳未考之

年中行事歌合 上下二卷アリ貞和五年ノ歌合ナリ判

者為秀卿為秀ハ為相ノ子ナリ判ノ詞ハ二條関白

古今 後普光園院良基公ナリ良基公ハ和歌有職ニ達

シ記覽ノ務モ他門ヲ耻ヌ人ナリ

歌林良材集 上下二卷アリ後成恩寺関白兼良公ノ

作ナリ兼良公ハ名高キ倭漢ノ才人ナリ二條禪閣是

美 ナリコノ書詠歌ノ道ニ便リアルコトヲ種々擧ケ和歌一

用ル故事來歴ヲモ沙汰シタル書ナリ

玄玄集 一卷アリ能因法師ノ作也一條院三條院後一

條院後朱雀院四代ノ名歌ヲ集メタリ

井蛙鈔 六卷頓阿ノ作好書ト聞ヘタリ

愚問賢註 一卷頓阿ノ作好書ナリ二條良基公倭歌

ノ事ヲ頓阿ニ問レタル書ナリ

悅目鈔 一卷基俊作ト云傳タリ

源三位頼政家集 二卷アリ頼政ハ武將ノ中ニテ勝レテ

和歌ノ名人ナリ俊成卿モ稱美ノ語アリ頼政ノ父兵庫

額仲正頼政ノ子伊豆守仲綱同息女讚岐同姪女丹
後何モ名アル歌人ナリ卷末ニ南禪寺惟肖和尚作ノ
頼政肖像ノ賛ヲ附ス美濃ノ蓮華寺ヨリ出ル歌書也

兼好家集 一帖アリ中院内府通村公弘文林子ノ跋アリ

新葉集 二十卷アリ南朝ノ和歌千四百餘首ヲ載ス南

朝後村上ノ御子後醍醐ノ孫長慶院弘和元年ニ編

メリ勅撰ニ擬スト云撰者入道中務卿官トアリ是ハ

宗良ノ事ナルベシ宗良ハ後醍醐ノ御子ナリ為定ニ和

歌ヲ聞問玉ヘルト見ヘタリ

美濃紀行 一卷アリ一條兼良公應仁ノ乱ヲ避テ奈良ヨ

リ美濃ヘ行玉ヘル紀行ノ倭歌等ナリ

堀河百首 三卷アリ基俊俊頼以下歌人十四人ノ百

首ナリ是ヲ太郎百首ト称ス

堀河次郎百首 三卷アリ永久四年俊頼基俊以下

歌人七人ノ和歌ナリ

幽齋聞書 本名和歌受用元一冊ノ書ナリ訛テ二帖ニ分

ツ幽齋法印和歌奥儀等家傳諸説ヲ其家臣佐方

宗佐筆録シタル冊子ナリ宗佐ハ佐方吉右衛門之

昌剃髮シテ宗佐ト名ク和歌ニ練磨ノ功アリ惶窩文

集ニモ其名見ヘタリ

檜山拾葉 目錄共ニ八卷アリ萬葉集ニ所詠ノ名所ノ

倭歌ヲ類聚シタル書ナリ萬治年中洛陽石川氏

作儒生橘雲堂青木親宣跋アリ

古今集鈔 六卷アリ文明年中宗祇東野列講釋聞

レタル聞書也野列ノ跋アリ

赤染衛門家集 四帖アリ

歌仙家集 十五本アリ公任卿ノ撰シタル歌仙三十六

人ノ家集ナリ

神道百首鈔 一卷二本ニ分テリト部兼俱文明十八年

正月十二日夜舊冬勸請ノ時本宮へ百首立願ノ事ヲ

思テ詠ストアリ刊本正本ニ非ス後人添入ノ事有之ト見

ヘタリ歌ノ下ニ註アリ註ノ作者未詳之

舉白集 十卷長嘯ノ和歌倭文ヲ集メタリ長嘯ハ若狹

大國主羽林豊臣勝俊ナリ此集ノ起リハ公範景範父子ニ出

片雖トモ山本二郎兵衛春正ニ大成ス景範ハ公範ガ子

法橋如雲コレナリ春正モ長嘯ノ門ニ遊ビタル者ナリ

類字名所倭集 目錄共ニ八卷アリ勅撰二十一代集ニ

レ名所ノ歌ヲ類聚セリ元和三年里村昌琢法橋編之

類字名所倭歌集拔書 二卷板本訛テ四本ニ分ツ里村昌

琢作ノ八卷類字ノ拔書ナリ

和歌題林愚鈔 八卷アリ二十一代集等ノ拔書ナリ題

詠ノ便リニナル書ナリ連歌師玄仲法橋作ト聞ヘタリ

明題部類鈔 七卷アリ古人ノ詠セル和歌ノ題ヲ集メタリ

戴恩記 上下二卷四本ニ分テ道遠軒松永貞徳倭歌師

漢書傳ノ事ヲ記セリ其孫昌易漢字ノ序アリ

無言鈔 二卷アリ刊本上中下三本ニ分ツ慶長ノ初木食

上人應其ノ作ナリ連歌ノ式ヲ集メタリ外題ハ後陽成院

ノ勅筆ナリ大覺寺空性親王紹也法眼跋アリ應其

慶長二年ニ行年六十二天正元年ヨリ木食十三年

駿宇寺社修造八十所高野住山二十五年ト云リ

山居百詠詩歌 二本アリ可急律師作ナリ

藏笥百首 三卷アリ儒醫真鍮忠庵作ナリ兒女子ヲ

教誡スルニヨレ忠庵名玄逸初久留米城主有馬君へ仕

後洛陽ニ皈隱シタル人ナリ

武家百人一首 一卷アリ武家百人ノ名歌ヲトシ播列

路城主松平式部大輔忠次ノ作ナリ經基公ニ始リ法

伴院義澄公ニ終ル

草庵和歌集 四卷續草庵和歌集二卷都計六卷

頤阿ノ集也

無名鈔 一帖アリ鴨長明作面白キ草子ナリ倭歌者

流ノ可看書ナリ

連歌新式 一卷アリ後光嚴應安年中二條良基公敎

濟周阿ト相議シ連歌古來ノ式ヲ刪潤メサレタリ良基

ハ後福光園院殿ノ事也名高キ才人ナリ追加モ良

基公ノ作ナリ新式今案ハ後花園院亨德年中ニ一

條兼良公宗砌ト心ヲ同シ新式并兩度ノ追加ニモ

タル事ヲ増補メサレタリ兼良公後成恩寺殿ノ事ナリ
然レ後栢原院ノ文龜年中ニ夢庵肖栢道遙院殿
ニ談合シ宗砌ヨリ宗祇ニ至ルニテノ諸名近ノ説ヲ舉
ゲ雜歌ノ式ヲ定メテ新式完備セリ

古今集序註

五本アリ古今假名序ノ註辭ナリ應永

年中淨土ノ僧了譽作ナリ了譽和歌ヲ頓向ニ聞ル

ト傳ニアリ了譽諱聖固閑東佐竹黨ノ子ナリ

新古今集鈔

四卷アリ東野列作近衛太閤植家三

條西實澄ニ公ノ説ヲ幽齋老人添補ノ本ナリ

部類歌合

三十六部ヲ集メタリ貞享二年開板

和漢聯句

小本一冊アリ和ハ也足斬素然漢ハ建仁寺

雄長老ノ作也中ニ漢和聯句モアリ也足ハ中院中納
言通勝郷事ナリ内府通村公ノ父ナリ

伊勢名所拾遺集

上下二卷四本ニ分テリ勢列ノ名

境ヲ考出シ古今ノ和歌ヲ附セリ延寶年中外宮ノ

祠官龍貞作レリ龍尚舎漢字ノ序アリ

土佐日記

一帖アリ紀貫之土佐國司ニナリタル時往來

ノ紀行ナリ刊本ニ誤多シ

古今集鈔

二十卷十六本アリ飛鳥井雅親入道榮

雅ノ作ト云説雖有之未詳之

古今集

十

古今集

古今集 二十卷 十六本

古今集

古今集

古今集

古今集

古今集

古今集

古今集

倭板書籍考卷之九

倭字諸書之部

源氏物語

紫式部力作ナリ倭字ニテ書ル書ニテハ無雙ノ

奇編也山路ノ露系圖目安共二三冊引歌一冊若菜ヲ

上下ニ分チ全部六十冊アリ雲隱ノ代ニ山路ノ露一冊

ヲ入タリ山路ノ露ハ世尊寺伊行ノ作ト云説アリ二條

家ニ山路ノ露ヲ不用伊行ハ夜鶴鈔ノ作者ニテ建礼

門院右京大夫力父ナリ今ノ刊本ニ旁註アリ山本ニ

即兵衛春正ガ手出ツ永正年中或人ノ書ル跋ニ此書ハ

種ノ異本有之ト云リ紫式部ハ日本紀ニ通ス始ハ日本

紀ノ局ト號ス古今絶異ノ才女ナリ

榮花物語

四十冊自録系圖一冊都テ四十一本アリ
宇多天皇以來後朱雀院ノ比迄帝主后妃宰臣ノ
事ヲ載タリ中三毛御堂関白道長公家門榮耀ノ事
ヲ詳ニ記セリ赤染右衛門ガ作也赤染ハ上東門院ニ
仕ヘタリ大隅守赤染時用ガ娘ニテ文章博シ大江
匡衡ノ妻ナリ名アル才女也匡衡ハ代々儒官ノ家ニ
生レ博學多才ノ人ナリ上東門院ハ道長公ノ息女
後一條院後朱雀院ノ國母ナリ

任吉物語

一卷アリ刊本三本ニ分ケタリ昔中納言ニテ
左衛門督兼タル人ノ女継母ニ思ヒ任吉ニ流落シ後
ニ富盛ニ成リタル由來ヲ記セリ

宇津保物語

三十冊アリ源順ノ作ト云リ其部立ハ藏
関櫻神菊縁藤原君鶴村鳥多々古曾吹上祭使
嵯峨院梅花笠初秋後景阿天也國讓トアリ作り
萬本物語ナリ

十六夜記

一帖アリ永仁六年綴摺ノ母儀阿佛訴訟
ノ事アリテ鎌倉へ下ラル道ノ記ナリ倭歌アリ首
ニ東行ノ由ヲ書キサテ今日ハ十六日ノ夜ナリケリ
即星ト書出し毎日ノ事ヲ書出セル故十六夜ノ記ト名ケ
タリ阿佛ハ平度親系女也才女ナリ

撰集鈔

九卷アリ壽永年中西行讚列善導寺ニ於
テ作り方外ノ人殊勝ナル事跡ヲ舉タリ今ノ刊本ニハ

誤字アリ重出人事アリ西行ノ作ル初本ニアラガルカ

顯註密勘 八卷アリ慶融作ナリ古今集ノ末疏ナリ

慶融ハ為家ノ名ナリ

明星鈔 二十卷アリ源氏ノ鈔也天文年中三光院實澄

公ノ作ナリ

源義辨引鈔 二十卷アリ京ノ一華堂切臨作源氏ノ鈔

也切臨ハ三光院殿ニ源氏ヲ聽ト云

萬水一露 二十八卷六十二本アリ源氏ノ鈔也能登ノ

永閑作永閑八月村齊宗碩弟子也連歌ニ名アル者

也兼應年中松永貞徳校合シテ刊行ス貞徳倭

字ノ跋アリ

貞永式目諉解 六卷アリ正三位清原宣賢入道宗

尤ノ物ナリ宗尤ヲ環翠軒ト號ス博識人ナリ

湖月鈔 六十帖アリ源氏諸鈔ノ説ヲ選ヒ顯書ニ出

セリ延寶元年洛陽北村季吟作也物語ノ内ニ

若菜ヲ上下二帖ニ分チ雲隱ノ説一帖加テ五十四

帖發端一帖系圖一帖年立二帖表白一帖合テ六十帖トス

有職問答 五冊アリ問ハ大内ノ義隆朝臣答ハ三條西實隆

公ナリ

源氏小鏡 一帖或ハ二帖ニ分ツ源氏物語ノ大意ヲ記セリ

公方勝定院毅義持公ハ耕雲老人進呈セシ書ト

記セリ耕雲ハ南朝ノ右大臣長親也倭漢ノ才人ナリ

弘安禮節

官階書式條々アラクト記シタリ末ニ附録アリ

假名文字遣

一冊ヨリ源親行作ナリ親行ハ源氏ノ水原鈔ヲ編ミタル河内守光行ガ子也亦ニ称名院入道ノ跋アリ其跋紹也校勘ノ本ニ有之コノ書ヲ世ニ定家ノ假名遣ト云ハ非ナリ定家ノ拾遺愚草ノ清書ヲ親行ニ頼ミレニヨリ親行此一冊ヲ作レト見ヘタリ定家ノ編ル書ニテハ不有也

宇治拾遺物語

十五卷アリ大納言隆國宇治ノ別業ニ於テ茶店ヲ作り往來ノ過客ヲ集メ茶ヲスメ倭漢ノ故事ヲ語ラシメ其物語ヲ倭字ニテ書留メラレタル

草子ナリ宇治大納言ノ物語トモ云隆國ハ後一條院寵

臣中納言源顯基ノ弟ナリ名人ナリ

野槿

十三卷アリ羅山林公ノ作ナリ徒然草ノ文義ヲ解シ評論ヲ附ス

春曙

一卷アリ烏丸光廣郷ノ東遊紀行ノ和文ナリ

竹取物語

一卷アリ刊本二冊ニ分ツ竹取ノ翁天女ヲ養育シ家富ミサカハ後ニ天女登天ノ事ヲ記セリ文詞拙カラズ但刊本ハ畧本ナリ

今昔物語

一卷アリ古今傳聞ノ雜説ヲ書集メタル書ナリ

藻鹽草

二十卷アリ又北四卷ニ分チタル本モアリ連歌ニ引用スルニ無地儀草本鳥獸等ノ事門ヲ分テ記セ

書籍考

四

小月村宗碩編り宗碩ハ宗祇門弟ナリ三條西
殿實隆公ノ遺列ニ預レル人ナリ古板ヨシ新板ニ誤アリ

翁問答

上下二卷 利本六冊ニ分ツ江列ノ隱士中
井与右衛門作ナリ中井氏死後二三年經テ慶安
三年ノ比中井氏ノ門人校正シテ板行ス校正本ノ序ニ
ハ中井氏豫列諸士ノ為ニ作ルトアリ編者ノ自序ニ一リ
ノ老翁ト体充ト云學者トノ問答ヲ書集メ翁問答
ト號ストアリ永禄年中江列佐々木氏ノ家臣三上大
學秀氏翁問答ヲ作り主君ヘ献ルト云事アリ然レハ
中井氏其書ノ題號ヲ用ヒ新意ヲ加ヘタル歟未^タ詳^カシ^ラ之
中井氏ハ王陽明ノ新學ヲ講明セシ儒者ナリ其事跡

本朝孝子傳ニ載セタリ

世諺問答

三本アリ本朝節序ノ故事等ヲアラクト書集
メタリ一條兼良公ノ作ニテ其令孫兼冬公ノ續筆ト聞
ヘタリ

春雨鈔

十卷アリ伊呂波ノ字ヲ以倭語ヲ標書シ字義ヲ
解釋シ出處ヲ考ヘリ江戸ノ鱸氏重常作ナリ羅山林
公ノ序アリ

類字假名遣

七卷アリ親行ノ假名遣ニ本テ作レリ者ヨリ
ヤウニ編タリ寛文中中伊勢ノ荒木田盛徽編ム林學士
ノ跋アリ

齊東俗談

七卷アリ弘文林學士ノ門人松浦氏編メリ

俗間通用ノ言詞門ヲ分テ釋セリ
三國相傳 篋篋內傳 五卷アリ 陰陽家ノ書ナリ 本

朝ノ故事少々記之

鑑囊鈔 七卷アリ 文安年中 山城列觀勝寺行譽編之

根雜ノ事ヲ取り雜セテ 和漢ノ故事 漢字倭字ノ字

義等ニ至ルニテ 童蒙ノ曉シ易キヤウニ編タル書ナリ

塵添鑑囊鈔 二十卷 行譽ガ鑑囊ニ添補ス 天文年中

一僧ノ作ト見ヘタリ

節用集 上下二卷アリ 南都ノ饅頭屋宗ニガ作ト云傳ヘ

タリ 宗ニハ唐ノ林和靖ノ末ナリト云 説アリ 牡丹花ニ源

氏ヲ傳フ人ト聞ヘタリ 源氏ノ鈔ヲモ作レリ

類聚往來 三卷アリ 正覺國師四世 佛陀院丹峯作也

麒麟鈔 二卷アリ 筆法ノ諸説ヲ集メタル書ナリ

明衡往來 三卷アリ 刊本訛テ二卷ニ分ツ 藤原明衡

作レリ 倭俗消息文章ノ權輿ナリ 雲列往來トモ云

明衡ハ本朝文粹ノ編者ナリ

挾衣 四卷 八本アリ 紫式部ガ娘太貳三位賢子ガ作

ナリ 光源氏ノ面影ニ似タル物語ナリ 源氏成就メ四十

年計經テ 挾衣ヲ書ト云リ カリニ 挾衣大將ヲ立テ作リ

タル物語ナリ 委ク一華堂切臨 挾衣目錄ノ末ニ記ナリ

道遙院殿作ノ 挾衣系圖一冊 附ス一華堂切臨 跋

アリ 挾衣下紐 四卷アリ 挾衣ノ鈔ナリ 下紐ノ作者名

ヲカクスト見ヘタリ

大和物語

二卷アリ物語アリ和歌アリ連歌少々アリ

詞スナホナル草子也生田川ニ身ヲ投セシヲトカ横澤

ニ沉ミシ采女ガ事姨捨山ノ故事此書ニ出タリハ雲

御鈔ニ伊勢物語大和物語源氏物語歌人ノ見ル

キモノナリトアリ作者ノ事清輔ノ説ニ不分明ト云

リ一條兼良公ハ花山院ノ作ト云リ定家郷ノ跋アリ

枕草子

元本三冊アリ今ノ刊本七冊ニ分ツ清少納言

力作也心ニ會セシコト何トナク筆ニカセ書タル草子

ナリ枕草子ニ詳畧ノ諸本アリト云リ傳寫ノ誤アリ

古來不審ナル事多シ清少納言ハ六十六代一條

院ノ皇后定子カガ仕少才女ナリ紫式部同代ノ人ナリ

定子ハ中ノ關白道隆公ノ女ナリ清少納言カ父ハ肥

後守清原ノ元輔也清少納言幼少ノ時元輔ニ從

ヒ肥後ニ下リ居タル事アリト見ヘタリ

倭板書籍考卷之九終

倭板書籍考卷之十

字書法帖之部

說文解字韻譜

十二卷アリ後漢ノ儒者許慎作ナリ

結文

說文ノ由來許沖カ序ニ詳ナリ許沖ハ許慎カ子ナリ

許氏說文十五卷アリ後ニ三十本ニ分ツ今ノ本ハ宋ノ

徐鉉等カ刊正ノ本ナリ寛文庚戌點者夏川元朴

元朴跋アリ

古今韻會

三十卷十五本アリ公紹編集

古今韻會小補

三十一卷アリ方子謙編輯

李維禎校正ス并序アリ

增續韻府

三十八卷アリ大明包瑜字ハ希賢作ナリ

元朝ノ陰氏兄弟ノ韻府ニ增續シタル書ナリ活字

本倭字點本二本アリ出處以下タシカナル書ナリ包瑜

曾於大明景泰年中及第ニ處々ノ教諭官ニナリタル

古今儒者ナリ韻府ハ陰幼達陰時遇兄弟三十年計

古今功ヲ以テ編集ノ書ナリ每字ノ註ハ陰幼達每字ニ故

事ヲ係ルハ陰時遇ナリ時遇ハ幼達ガ弟ナリ韻府ノ

名ハ二子ノ父竹野老人命ス陰氏ハ江西南昌人五

世同居ト云

說文篆韻譜 五卷アリ徐鉉ガ弟楚全作ナリ

韻鏡 一卷アリ編者ノ名ナシ宋ノ末ニ世ニ行ハ福列張

麟之相テ世ニ廣メタリ六百切最要ノ書ナリ又卷首

ノ字母圖等張氏作ナリ日本ニテハ南都ノ傳經院

明了律師ヲ書ク傳テ世ニ行ヘリ亨祿元年堺ノ僧

宗仲開板ス清三位宣賢ノ跋アリ

韻鏡開奩 六卷アリ韻鏡ノ鈔ナリ寛永四年自等

菴宥胡編リ

五車韻瑞 百六十卷アリ萬曆年中吳興ノ凌稚隆

作ナリ韻府ニ本テ作レル書ナリ經史子集ノ出處門

ヲ分テ舉用タリ考據ニ誤アリト云凡普通ノ韻書ノ

中ニテハ精シキ書ナリ菊池東句倭訓ヲ加ヘ刊行ス

篇海類編 二十二卷アリ宋景濂作ト云說ア

分明ナラス字數三萬八千四百餘アリ

草書韻會 二本アリ金ノ張夫錫ノ作ナリ趙閑閑ノ

草書序アリ草字ヲ習ニ好書ナリ

增補草書韻會 五卷アリ編者ノ名ナシ大明御製

蘇武ノ跋アリ鵝飼石齋點ス

袖珍詩韻 蘇一卷アリ韻要トモ云萬曆年中李名芳序

アリ作者ノ名ナシ袖裏ノ用ニシタル小本ナリ

内閣字府 蘇一卷アリ明儒ノ作ナリ倭本三冊ニ分ツ編者

正車分明ナラス字學ニ便リアル書ナリ

草書要領 蘇五卷アリ唐ノ虞世南晋ノ王右軍ノ草

書ヲ采リ集メタリ遵生八牋ニモ草書要領五卷

集晋草書為初學法トアリ

草訣辨疑 一本アリ大明范文明作ナリ草書ヲ習ニ

便リアリ外題ヲ錯テ辨格ト題ス

懷素草書千字文 一本アリ

董其昌四體百家姓 其昌近代ノ名人書畫ノ上手

ナリ四體ハ真草八分篆文ナリ

東溪翁隸法 一卷アリ石川丈山八分字ナリ

米元章千字文 一本アリ真字ナリ

玉篇 三十卷アリ陳ノ顧野主ノ作ナリ野主博識ノ人ナ

リ七歳ニテ五經ノ大意ヲ曉スト云リ輿地志三十四卷

此人ノ作ナリ慶長九年倭板ニ出ツ妙心寺鐵山

跋アリ

詩韻箋 五卷一本アリ李維禎作ト云リ詩韻ヲ考ル便アリ

龍龕手鑑

八卷アリ僧ノ行均作行均元朝ノ僧ト見ヘ
タリ活字板ニアリ玉篇ニ似タル物ナリ

字考

一卷アリ萬曆ノ末黃元立作ナリ

本朝名公墨寶

三卷アリ弘法并三跡世尊寺定

實同行能

伏見院後伏見院尊圓尊道尊鎮尊

朝尊純

近衛信尹公光悅昭乘筆跡ヲ採レリ正

保二年

編者ノ跋アリ名ナレ日本ニテ法帖板行是ヲ

始トス

祝允明秋興八首帖

一本アリ允明ハ枝山ノ事ナリ

文筆ノ達人ナリ

詹孟舉法帖

一帖アリ朱子勸學文ヲカク好手本ナリ

東坡

孟舉字ハ希原明朝弟一ノ大文字カキナリ祝枝山ニ

子昂

ヲトラヌ能書ナリ廣百川學海五雜俎ニ孟舉手跡

ノ沙汰アリ

姜立綱十字文

一本アリ姜立綱筆ナリ姜立綱ハ大

明ニテ

詹孟舉以後世ニ鳴ル能書ナリ世俗姜字ト

イハ立綱ノ手跡ノコト

知レリ近來大明官家ノ筆

法多クハ立綱ヲ手本トス

別ニ叙古十字文アリ同筆

白月ナリコレハ倭板ニ有之

十字文ヨリ二三年後ニ書タルモ

人ナリ叙古ハ倭板ニナレ

子昂書前赤壁賦

一本アリ真字好法帖ナリ

畫譜八種

八本アリ古詩ノ心ヲ繪ニ寫シタルモノナリ

佳玩ナリ編者八名ナシ

畫譜 一本アリ明ノ唐六如作ナリ六如ハ唐寅字ハ伯虎

名人ナリ畫モ上手ナリ

白氏新樂府 一帖アリ洛陽奧田松菴筆ナリ松菴名

舒雲字子章活所道圓ヲ師トメ儒ヲ業トス近世能

書ノ譽アル人ナリ圭菴正珀法眼ノ二男ナリ倭點好シ

菅家ノ舊點ト云

懷素自叙帖 一帖アリ唐ノ僧懷素無雙ノ草字カキ

ナリ唐ノ詩人錢起カ外甥ニテ玄辨法師ノ弟子ナリ

匏菴吳寬ノ跋アリ百川學新正錄跋ニ孟舉キ

東坡醉翁亭帖 三帖ニカツ真字ノ好帖ナリ總シテ東

坡筆ノ醉翁記ハ數本有之モノナリ

子昂證道歌帖 一帖アリ

草訣百韻歌 一帖アリ編者シレズ王右軍ノ作ト云ハ偽

説ナリ草字點畫ヲ吟味シタル書ナリ

文徵明千字文 一帖アリ徵明翰林院待製ニナリ子昂

ノ筆意ヲ兼用ヒ九十八歳ニテ死シタル人ナリ明朝弟

ニノ能書ト云説アリ弟一ハ祝枝山ナリ文彭文嘉二

人徵明ノ子ナリ各能書ナリ

朱文公脫去帖 一帖アリ

趙即之自悔銘 一帖アリ即之字温夫羲之以後子

昂以前天下ニ名高キ能書ナリ

董其昌書朱子勸學文 一帖アリ真書中字好手本ナリ

李雪菴書韋蘇列詩 一帖アリ雪菴ハ元朝ノ名僧ナリ

此僧李氏故俗ニ李雪菴ト云竹ノ畫上手ナリ

李雪菴書東銘帖 一帖アリ

鮮于樞書前後赤壁賦帖 一帖アリ元ノ鮮于伯機ノ

法帖ナリ伯機手跡ヲ子昂モ甚推重メサレタリ鮮于

困學ト云モコノ人ナリ

字彙 十四卷アリ梅宣城作

續字彙補 十四卷アリ字體辨微一卷ヲ附ス梅宣城カ

字彙ニ落タル文字ヲ補入レソノ上字義切等ヲ訂ス

種々ノ珍書ヲ引用ヒタリ康熙五年仁和ノ吳仕臣

字ハ志伊作ナリ近世博覧ノ人ナリ此書ニ引ク書千

種ニ及ヘリ

四體千字文 一本アリ小篆八分真字草書ノ四體也

宋七君子墨跡 一帖アリ七君子ハ周子二程子邵子

司馬公張子朱子也朝鮮進士金世濂集メタリ

世濂ハ東溟ト號ス寛永十三年ニ來朝シタル副使ナリ

片壁草法彙函 五卷アリ小本ナリ古今名筆草書

ヲ集メタル書ナリ草書ヲ習ニ便アリ大明共黃石齋

編メリト云石齋ハ黃道周ノ事ナリ

倭板書籍考卷之十六尾

蘇州府志卷之六十八

謝八子云不齊八黃鐘周八車十

其大久山書十草書之醫二野一六即黃不齊

于時元祿十五壬午曆弥生吉且

出蘇八東真十解八度示十三平二末障一八山阿野十

同漁公取之末十出障輪聖士金世蘇兼八八

宋十氏于墨雍列書肆

十氏十八國十二跡于野十

四體十字文

一本一

木村市郎兵衛板行

蘇二及八

字八亦吟於十立世書肆八人十出書二八八書十

七三

十

十

